ゴリラのおとうちゃん

三浦太郎（みうらたろう）作　こぐま社（しゃ）

なあ おとうちゃん あそんで～や
なんや またかいな しゃ～ないな いっかいだけやで

ねころがっていた ゴリラのおとうちゃんは、あしを たかく あげて、こどもを ツルーンと すべらせます。「おとうちゃんすべりだい」！ それから「おとうちゃんひこうき」「おとうちゃんたこやき」と、あそびは まだまだ つづきます。

関西弁（かんさいべん）の親子（おやこ）の会話（かいわ）が、なんともほほえましい、からだあそびの絵本（えほん）です。お父（とう）さんの読（よ）み聞（き）かせにぴったりです。